

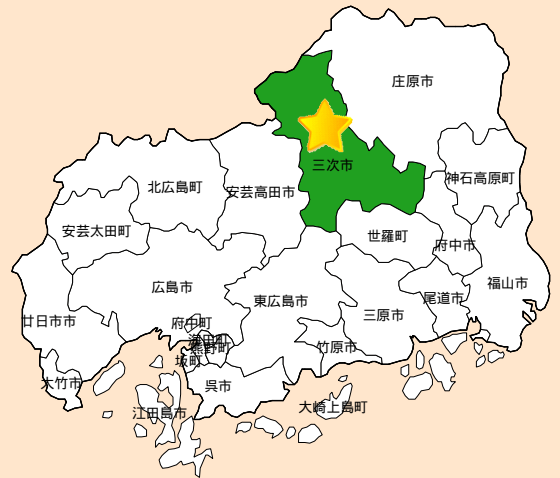
平成27年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 最優秀賞組織

【中山間地域等直接支払】

いしはらしゅうらくきょうていくみあい
「石原集落協定組合」

(広島県三次市)

- (1) 協定農用地面積：65.2ha
田(急傾斜46.6ha、緩傾斜18.6ha)
...水稲・麦・大豆・アスパラガス・ひまわり
- (2) 交付金額：1,156万円
うち共同取組活動分 60%
小規模・高齢化集落支援加算



【地区の概要】

石原地区は、中国山地に位置する三次市の旧君田村にある典型的な中山間地域です。第1期対策時には3つに分かれていた集落協定を第2期対策で石原集落協定組合として、地区のほぼ全域をカバーする集落協定にまとめています。さらに、第3期対策では出作関係にあった近隣の小規模・高齢化集落を編入するなど、集落協定を発展させています。

本交付金を活用した地区ぐるみでの獣害対策やセンチピートグラスによる畦畔管理の省力化等の積極的な取組、認定農業者3経営体(特定農業法人、合同会社、個人)等への地区内農地の約7割(49.5%)の集積など、地域の活性化が図られています。

【主な取組内容】

地域ぐるみでの獣害防止柵(延長9.5km)、箱わな(11基)の設置、センチピートグラスの植栽の支援による畦畔管理の省力化を推進しています(平成28年までに協定面積の24%(15.8ha)まで植栽予定)。

アスパラガス栽培の取組みによる高齢者・女性の雇用の場の創出や毎年開催している「ひまわりまつり」(約2,500人の来客)で地域農産物等の販売を行っています(約150万円の売上げ)。

人材育成助成(共同取組活動費)による研修を契機に13haの酒米栽培を実現しています。



ひまわりまつりでの加工品等の販売



アスパラガスの栽培による地元女性・高齢者の雇用の場を確保



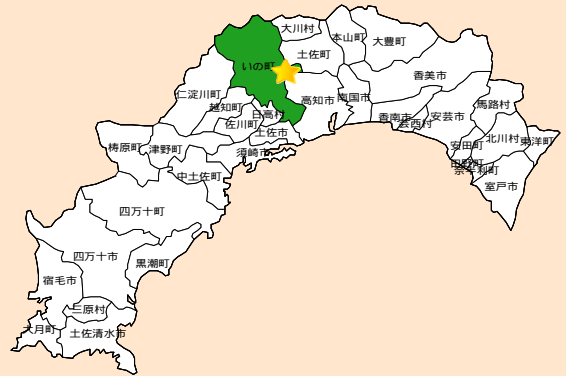
酒米の栽培圃場

平成27年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 最優秀賞組織

【中山間地域等直接支払】

じょうとうしゅうらくきょうてい
「上東集落協定」(高知県吾川郡いの町)

- (1) 協定農用地面積：21.6ha
田(急傾斜14.6ha、緩傾斜1.2ha)
... 水稻、酒米、ニラ、わさび他
畑(急傾斜3.3ha、緩傾斜2.5ha)
... ゆず他
- (2) 交付金額：363万円
うち共同取組活動分 28%



【地区の概要】

上東地域は、高知市から車で1時間程度の山間に位置するいの町の旧吾北村にある、沢沿いに農地が広がる典型的な中山間地域です。

平成12年度より地域内の6集落がそれぞれ中山間地域等直接支払制度に取り組んでいましたが、耕作者の高齢化及び担い手不足により、農地の荒廃等の課題が生じていました。

このような課題に対応するために、第2期対策の最終年の平成21年に地域全体をカバーする集落営農組織(上東地区営農組合)を設立するとともに、6協定を1つの協定に統合しました。これまでは5協定が8割協定だったところ、統合後の協定は10割協定にステップアップし、生産体制の整備、効率化による取組の充実が図られています。

【主な取組内容】

集落営農組織のオペレーターの2名は40代で、将来は地域のリーダーとなるよう集落ぐるみでサポートしています。

集落営農組織の設立により生産体制の効率化が図られたことで、酒米の栽培やニラ、加工用ワサビなどの園芸作物の導入、再生農地でのゆず栽培等の取組みを実施しています。

毎年3月末に地元住民の手作りイベント「カタシ(藪椿)の花祭り」を開催し、都市住民との交流を実施しています。



谷筋に広がる不整形な協定農用地



ハウスでのニラ栽培



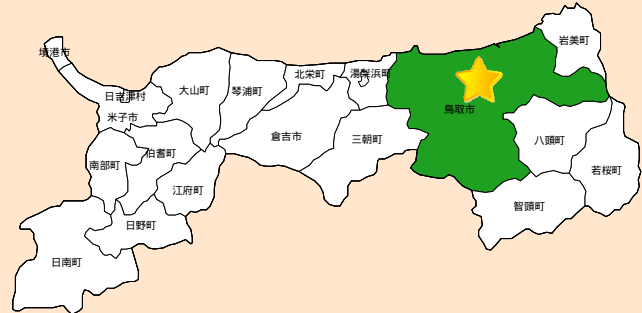
カタシの花祭り

平成27年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織

【中山間地域等直接支払】

くちほそみしゅうらくきょうてい
「口細見集落協定」(鳥取県鳥取市)

- (1) 協定農用地面積：13.3ha
田(急傾斜10.1ha、
緩傾斜3.2ha) ... 水稻等
- (2) 交付金額：238万円
うち共同取組活動分 50%



【地区の概要】

口細見集落は、鳥取市の中心部へ車で約30分の千代川の支流沿いにある集落で、高齢化、担い手不足により荒廃農地が発生する中、平成12年度から中山間地域等直接支払の取組みを開始しています。

平成14年に農地を集約化し、農業の組織的運営を行うことを目的に農事組合法人ラブグリーン細見(法人番号7270005000994)を設立し、地域内の自治組織と協働しながら取組を行うことで、集落全域での獣害対策、荒廃農地の再生、環境保全型農業の推進、地域の女性の力を活用した園芸作物の導入等を実施するなど、先を見通した地域ぐるみの体制強化を図っています。

【主な取組内容】

農事組合法人ラブグリーン細見が、協定農地の約9割を集積するなど農業生産体制を構築しています。平成16年から県の特別栽培農産物認証を取得し、「棚田清流育ち・特別栽培米」としてインターネットや病院等へ約6割を直販、約1,000万円の売り上げを達成しています。

女性が中心となり、園芸作物(ほうれん草等)の栽培・市場出荷や「昔ながらの手作りお餅」等の加工品を販売等の取組を実施しています。

獣害防止柵(約1,500m)の設置、老朽化した農道橋の架け替え、荒廃農地の再生利用(13筆、約1.5ha)など営農環境の改善が図られています。



(農)ラブグリーン細見による
田植え作業



女性によるハウスでのほうれん草栽培



架け替えた農道橋及び再生利用された農地

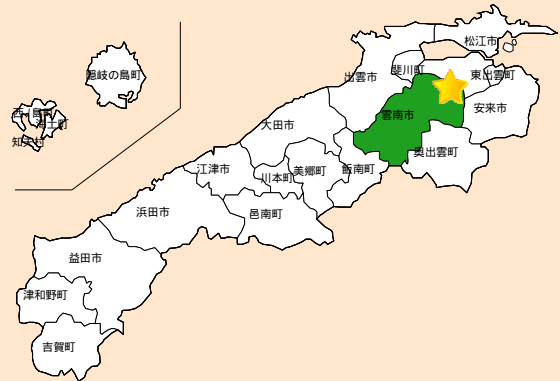
平成27年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織

【中山間地域等直接支払】

だいとうみなみむらきようてい

「大東南村協定」(島根県雲南市)

- (1) 協定農用地面積：15.8ha
田(急傾斜3.4ha 緩傾斜11.7ha)
...水稲
畑(急傾斜0.1ha 緩傾斜0.5ha)
...野菜等(系瓜)
- (2) 交付金額：169万円
うち共同取組活動分 50%



【地区の概要】

雲南市(旧大東町)の大東南村集落は、松江市の中心部に車で約30分の位置にあります。中山間地域等直接支払に平成12年から取り組んでおり、交付金を活用して、女性・高齢者グループで組織する南村自治会農産加工組合が中心となって取り組まれている集落で栽培された系瓜(いとうり)の粕漬けの加工販売を支援を行っています。

また、平成21年3月に農事組合法人みなみ村(特定農業法人)(法人番号7280005006479)を若手3名で立ち上げ、高齢化で耕作が困難となった農地のサポート体制を整備し、現在、協定農用地の約4割に利用権設定を行っています。また、将来的には加工組合の運営を担う受け皿として位置付けており、高齢者が安心して農業生産活動を続けられる体制を構築しています。

【主な取組内容】

集落の女性・高齢者等が主体となった系瓜の加工販売の取組により、年間30トン、1千万円を売上げを実現しています。

平成21年3月に(農)みなみ村を設立し、耕作が困難となった農地を引き受ける生産体制を構築しています(協定農用地の約4割を利用権設定)。

安心して農地を守ることができる体制が構築されたことにより、平成26年度からほ場整備事業(中山間総合整備事業)を実施しています。



(農)みなみ村設立総会



女性・高齢者グループによる農産物加工(系瓜の粕漬け)



ほ場整備事業の実施(全て協定農用地)

平成27年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織

【中山間地域等直接支払】

「^{つつ}津々A、^{つつ}津々B、^{つつ}津々C^{きょうてい}協定」(3協定)
(岡山県高梁市)

- (1) 協定農用地面積：23.7ha
田(急傾斜8.0ha 緩傾斜15.7ha)
...水稲、WCS用稲
- (2) 交付金額：293万円
うち共同取組活動分 60%



【地区の概要】

津々地区は、岡山県中西部の典型的な中山間地域に位置し、過疎化、高齢化等により小学校の統廃合、商店やガソリンスタンドの廃業など生活環境は年々厳しくなっている地域です。

ほ場整備事業を契機に大型機械による効率化、生産コストの低減を図るため、平成11年6月に津々地区の3町内会が母体となった津々営農組合を設立し、平成13年度から津々営農組合のエリアを河川及び県道で区分した3協定で中山間地域等直接支払制度に取り組んでいます。

平成26年11月に、3協定は、話し合いの中から明らかになった今後の集落及び農地の維持管理の課題を踏まえ、高梁市初の農事組合法人アグリ津々(法人番号3260005009859)を設立し、より一層の農業生産体制の維持・強化を図っています。

【主な取組内容】

農事組合法人の利用集積は、10年間の利用権設定で行われ、安定的に地域の農業生産活動を維持できる体制を整備しています。また、協定農用地に番号及び面積の看板を設置し、容易に管理できる体制を構築しています。

法人において3名の専属オペレーターを雇用し、地域内での雇用の場を創出しています。農業用機械の整備・共同利用、センチピートグラスによる法面の草刈り省力化により効率化を図っています。

岡山県農林水産総合センター-生物科学研究所の協力を得て、光合成プロセスを大幅に促進させる「酸化型グルタチオン」の施肥による飼料用米増収試験栽培を実施しています。



センチピートグラスの植栽



協定農用地の地番・面積を表示



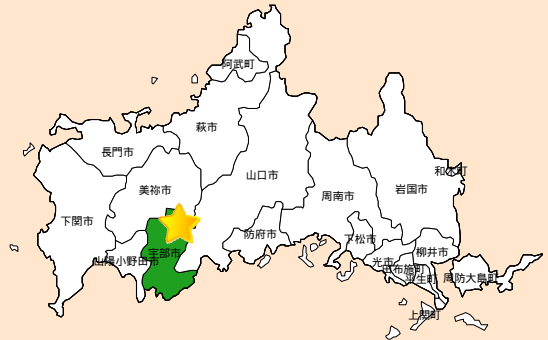
飼料用米増収試験栽培の実施

平成27年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織

【中山間地域等直接支払】

いちおのしゅうらくきょうてい
「市小野集落協定」(山口県宇部市)

- (1) 協定農用地面積：14.7ha
田(急傾斜12.0ha、緩傾斜2.7ha)
...水稲
- (2) 交付金額：273万円
うち共同取組活動分 50%



【地区の概要】

宇部市の市小野集落は、美祢市・山口市との市境の典型的な中山間地域にあります。同集落では、中山間地域等直接支払制度の対象農地は山沿いに数カ所に分散し、大部分を占める中心部の農地は対象にならない中で、平成12年度から集落協定を締結し、中山間地域等直接支払制度に取り組んでいます。

交付金を活用した共同取組活動では、周辺林地の下草刈りや共同利用施設の改修、鳥獣害防護柵の設置、計画的な農道等の整備、農事組合法人市小野(法人番号5250005008109)の設立による農業生産活動等の体制強化を図り、持続可能な農業生産活動の体制整備に努めています。特に対象外の平場も含めて集落ぐるみで農業生産活動等の体制整備、月1回の集落の全体集会での中山間直接支払の状況等の情報共有を図ることで円滑な取組みが行われています。

【主な取組内容】

協定対象外の平場部分と連携を図り、コンバインの購入、農道舗装、水路補修、イノシシ防護柵の設置による被害軽減、林地の下草刈り等の取組みにより農業生産活動を維持しています。

集会所の改修などにも交付金を活用するなど集落全体の環境整備に取り組むことで集落のまとまりを形成しています。

平成27年1月に集落協定を含めて集落全体をカバーする農事組合法人を設立し、農地集積や農作業の効率化を図り持続的な農業経営を目指す体制を整備しています。



交付金を活用した農道舗装



共同取組活動による林地等の草刈り



(農)市小野設立総会

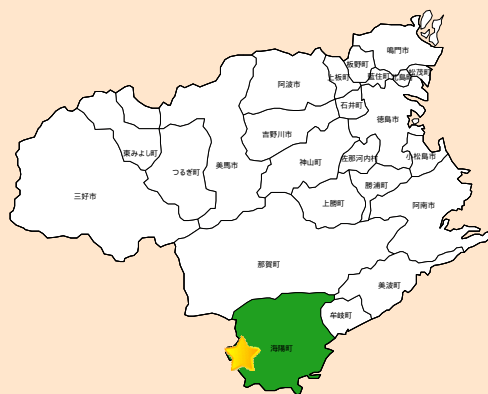
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織

【中山間地域等直接支払】

く お し ゆ う ら く き よ う て い
「久尾集落協定」

(徳島県海部郡海陽町)

- (1) 協定農用地面積：6.5ha
田（急傾斜4.8ha）... 水稲
畑（急傾斜0.6ha 緩傾斜1.1ha）
... 茶、野菜
- (2) 交付金額：90万円
うち共同取組活動分 50%



【地区の概要】

久尾地区は、徳島県最南部海陽町の役場から車で約1時間の距離にある担い手不足と高齢化が進んだ典型的な小規模・高齢化集落で、平成12年度から中山間地域等直制支払制度に取り組んでいます。

久尾集落協定では、農業者の創意工夫により、地元で古くから伝わる「寒茶」を商品化し、外貨を稼ぐだけでなく、高齢者・女性等の雇用の場になっています。また、地元の小学3年生を毎年30人程度受け入れ、寒茶の摘み取り体験等を実施するなど体験学習にも取り組んでいます。

さらに、県が実施する「とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業」の受け入れ団体に登録し、積極的に企業や大学等のボランティアを受け入れることで、外部との交流を活かしながら地域の維持・発展を図っています。

【主な取組内容】

寒茶を地元ブランドとして加工・商品化し、年間約100万円の売り上げを達成しています。

寒茶の収穫等作業体験を行える体験農園を開設し、交付金を活用して、地元小学生に寒茶を知ってもらうための体験学習等を毎年実施しています。

都市部から体験民泊を受け入れるなど地域にあるものを使って地域の魅力を発信しています。



寒茶の体験農園の開設



寒茶づくり体験学習の実施



寒茶関連商品